

水性さび止め塗料(内外部用)

アクアマックスEX II

系 統 速乾・高性能水性特殊変性エポキシさび止め塗料

適用規格 JASS 18 M-111 適合品

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 屋内外の鉄部に適用できます。
- 2) 水性塗料なので引火の心配がなく安全です。
- 3) 重金属(鉛・クロム等)は配合していません。
- 4) 一液形で、ポットライフがなく扱いやすい材料です。
- 5) 乾燥性に優れます。
- 6) 水性反応硬化形塗料や弱溶剤系塗料の上塗りが可能です。

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレス スプレー		
希 積 率	0~5%	0~5%	0~5%		
標準所要量 (kg/㎡/回)	0.14	0.14	0.17		
希 積 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。
公共建築工事標準仕様書の塗付け量は0.11kg/㎡です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	10℃
標準塗装間隔	最 短	4 時間	6 時間
	最 長	7 日	7 日
使 用 時 限		—	—

注) 塗り重ね時間:水性上塗塗料の場合です。
弱溶剤系上塗塗料の場合、23℃で8時間が目安です。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	16kg 4kg
2 混 合 比	—
3 色	グレー、赤さび、白
4 つ や	つや消し
5 仕 上 ぎ 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.28(グレー、白)、1.26(赤さび)
7 溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8 加 熱 残 分	52%(グレー、赤さび色、白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	—
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非 危 険 物
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

鉄、亜鉛めっき、アルミ、ステンレス

注) 新設の溶融亜鉛めっき、アルミには適用できません。電気亜鉛めっき、ステンレスは事前に付着性を確認してください。

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

アレスアクアレタン、、アレス水性ネクストⅢ、アスカⅡ、セラムレタン、カンペⅠ液MレタンHGなど

使用上の注意事項

- 1) 結露が生じ易い部位や没水部の適用は避けて下さい。
- 2) 塗装する前に素材及び旧塗膜の目粗しを十分に行なってください。
- 3) 十分に錆落とした後に塗装を行なってください。
- 4) 開缶後よくかき混ぜて中味を均一にした後、ご使用下さい。
- 5) 刷毛塗りの場合は、ナイロン刷毛をご使用下さい。動物刷毛は刷毛が固まったり、ブツが生じる場合があります。
- 6) 5℃以下の低温、75%RH以上の高湿度、または被塗面に結露が生じる場合は塗装を中止してください。
- 7) 過希釈すると、タレやハジキが生じ易くなったり、規定膜厚(防食性)が確保しにくくなりますので、規定の希釈率を守ってください。
- 8) 乾燥が早い休憩などで作業時間があく場合、容器内の塗料に刷毛やローラーを浸したまま密閉してください。
- 9) 沿岸地区での劣化鉄面や高湿度条件で塗装された場合、塗装後比較的短時間の間に点さびが発生することがありますご注意ください。
- 10) 点さびが発生した場合は、その上に再塗装が必要です。
- 11) さび止めの膜厚が薄い場合やピンホールがある場合に、水性上塗を塗装すると点さびが発生することがありますのでご注意ください。
- 12) 海浜地区などの重防食が必要な厳しい環境の場合は、溶剤系エポキシさび止め塗料など別途適切な塗装仕様をご検討ください。
- 13) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 14) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。